

ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・3月号・付録
2009年3月6日発行(毎月1回6日発行)
昭和43年6月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL (03) 53 79-5521 / FAX (03) 53 79-5510
ホームページ http://www.houkon.jp/
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・隈部紀生

2008年12月26日理事会を開催した。
◇出版編集委員会
「GALAC」を4月号からリニューアルする。表紙のGALACのロゴも変える。特集は「デジタル時代の『放送批評』とは何か」の予定。5月号は「NHK教育テレビの50年」の特集を組む。表紙は多部未華子さんの予定。
◇選奨事業委員会
〈テレビ部門〉
月評会でドラマが3本入った。「GALAC」のギャラクシー賞についての欄も改定する。
〈CM部門〉
審査員が若干足りないので補充する予定である。
〈報道活動部門〉
11月29日に「ギャラクシー賞受賞報道活動を見て、制作者と語る

会」を東京・八王子の東京工科大学メディア・ホールで、公開シンポジウムという形で開き、350人以上が参加して盛況だった。来年以降もやりたい。
◇企画事業委員会
2月18日に都市センターホテルで開くシンポジウムのプログラムが最終決定した。正会員にはファクスで、一般には1月上旬から案内のビラや申込書を発送する(4頁プログラム参照)。
◇ギャラクシー賞贈賞式の体制
総合演出はこれまで通り嶋田親一さんに、サブ役を入江たのしさんをお願いすることに決定した。司会役はジョン・カビラさんをメインにする予定。
◇その他
大空社から出版されている「全国テレビドキュメンタリー」を定

シンポジウムのプログラム決まる GALAC4月号からリニューアルへ —12月理事会報告—

着させるため放懇が編集をサポートできないか検討してほしいという提案があり、今後改めて話し合うことにした。
◇次回理事会は1月26日(月)午後6時30分から
「出席」音好宏、隈部紀生、上滝徹也、市村元、兼高聖雄、坂本衛、嶋田親一、滝野俊一、藤久ミネ、松尾羊一

会議記録

8日	選奨・CM定例部会	12月
18日	出版編集委員会	
19日	選奨・ラジオ定例部会	
22日	選奨・テレビ月評会	
26日	理事会	
8日	選奨・ラジオ新連載企画会議	1月
20日	財務プロジェクト	
22日	選奨・ラジオ定例部会	
23日	選奨・テレビ月評会	
26日	理事会	
29日	出版編集委員会	

放送批評懇談会シンポジウム2009

放送2.0宣言 ～新しい媒体価値の創出～

日時 2009年2月18日(水曜日) 13:00～18:00
会場 都市センターホテル コスモスホール／東京都千代田区平河町
主催 NPO法人放送批評懇談会
定員 250名予定
対象 民放、NHKの経営・編成・営業・企画・開発および技術担当者。家電、商社、流通など企業のメディア関係担当者。通信事業者。衛星放送事業者。CATV。IT・インターネット関連会社。広告会社。新聞社、出版社。コンテンツ企画会社。制作プロダクション。各種権利団体。自治体。大学・研究者ほか。

13:00-13:45 **特別講演「新しい時代に向けた“公共放送NHKの改革”**
福地茂雄 日本放送協会会長

13:45-14:30 **特別講演「インターネットと放送の連携を求めて」**
井上雅博 ヤフー株式会社代表取締役社長

14:30-14:50 コーヒーブレイク

14:50-16:10 **対論「産業構造の変容とコンテンツのありかた」**
谷脇康彦 総務省情報通信国際戦略局情報通信政策課長
村上敬亮 経済産業省商務情報政策局メディア・コンテンツ課長
モデレータ/砂川浩慶 立教大学准教授

16:10-18:00 **ケーススタディ「コンテンツとビジネスの新しいチャレンジ」**
＜クライアント＞ サントリーのクロスメディア戦略と実践
サントリー株式会社 宣伝部部长 泉田 豊
＜エージェント＞ “ブカツの天使”に学ぶ、生活者主導のメディア・クリエイティブ
株式会社博報堂 i-ビジネスセンター クリエイティブ・ディレクター 須田和博
＜メディア＞ 芸能人も、一般人も、企業も使うAmeba “アメブロ”の舞台裏
株式会社サイバーエージェント コミュニケーションディレクター 須田 伸

(敬称略。講師および講演タイトルは変更の場合があります。)

開催趣旨

2011年7月の地上デジタルテレビへの完全移行を目前に控えた現在、放送法制の改正、放送コンテンツのグローバルな流通、インターネットの伸張による視聴者行動や広告費の変化、日本企業における広報宣伝活動のグローバル化など、放送メディアを取り巻く環境は大きな変動の時代にさしかかっています。

この環境変化に対応するために、放送メディアはいかなる経営戦略を持つべきか、インターネットの活用などどのようなコンテンツ戦略があるのか、次なるステージの放送メディアの姿を追い求める模索が今こそ必要なのではないでしょうか。

メディア環境変動の時代において、放送メディアの新たな方向性を考え、新たな姿を構築する手掛かりを探すべく、放送批評懇談会シンポジウム2009を開催いたします。

シンポジウム参加者募集中 GALACのリニューアル進む

— 1月理事会報告 —

1月26日、2009年初の理事会を開いた。

◇出版編集事業委員会

「GALAC」の4月号からのリニューアルが進んでいる。表紙は誌名のロゴが「GALAC」になってはじめて変わり、写真もデジタルでカラー撮影したものを変換して使うので多少感じが変わる。12月号の二宮和也の表紙に関連して以前二宮が表紙になった2002年12月号のコピーを希望者に配るサービスをしたら、1600件あまりの申し込みがあった。

◇選奨事業委員会

〈テレビ部門〉

「GALAC」のギャラクシー賞関係誌面を刷新し、「今月のポイント」欄を新設する。2月上旬、ギャラクシー賞下期の応募要項等を送付する予定。

〈ラジオ部門〉

「GALAC」の誌面変更を何回も論議し、合評欄を倍にして、人欄でなるべく放送局の若い制作者を取り上げる方向で集約しつつある。

〈報道活動部門〉

「GALAC」誌面についてはコラムを報道活動の発掘にかぎらず何でも書ける欄にしたい。

◇企画事業委員会

シンポジウムの内容には自信あるが、金融危機の影響か、1月26日現在参加申し込みが172人で、まだ目標に達していない。例年通り、関係紙にも広報してもらっているが、一層の参加者募集にご協力願いたい。

◇財務プロジェクト報告

1月20日に第1回の会合を9人の委員全員の参加で開いた。グランドデザイン小委員会の答申を受けて正会員や維持会員の拡充策を話し合っ

た。その結果、地域からの加入のメリットを一層はつきりさせるために、地域でギャラクシー賞受賞作の上映会やミニ勉強会を開いてはどうかという提案が出された。

また今後民放の認定持ち株会社ができるが、民放連には加入しないことになったこともあり、放懇としても従来の番組を制作し、放送する局ごとの加入をベースにする。未加入地域民放局には改めて理事長名で勧誘文書を出すとともに、理事、会員から個別に働きかけるようにするなどの意見が出た。今後理事会に諮りながらできることから実施していきたい。

◇ギャラクシー賞トロフィーの件

亡くなった岩田糸子さんのデザインによるトロフィーを2009年も使わせていただくことで準備を進めてきたが、トロフィーを製作してくれていたHOYAクリスタルが金融危機のあおりで2009年3月末で廃業することになった。担当者の努力で2009年分のトロフィーについては最後の窯で2008年と同数製作してもらえることになったが、受賞作の名前を入れるのは授賞式の

直前しかできず、名入れをどこに依頼するかはまだ決まっていない。また2010年以降については別途検討する必要がある。

◇退会承認

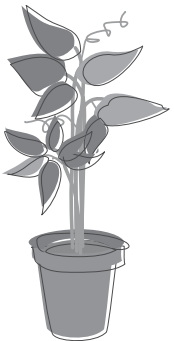
三平孝雄（沢孝介）さん

◇次回（2月）理事会は2月26日（木）。3月理事会は3月30日（月）、4月理事会は4月27日（月）。いずれも午後6時半から。

「出席」音好宏、隈部紀生、小田桐誠、五井千鶴子、小林毅、坂本衛、嶋田親一、橋本隆、藤久ミネ、山田健太

「投稿をお願いします！
ご意見をお待ちしています！」

会報「ほうこん」では、会員の皆さまのご意見を反映させるため、「投稿欄」を設けております。
どのような意見でも結構ですので、ぜひ事務局までお寄せください。字数は400字程度でお願いします。
Eメール（kondankai@houkon.jp）、ファクス（03-5379-5510）でお送りください。お待ちしております。



お知らせ

「制作者を囲む小さな会」ご案内

番組づくりの名手、放送界の至宝を囲んですべてを聞く“小さな集い”を開きます。
今回のゲストはドラマ演出家・鶴橋康夫氏です。
会員の皆さまのご参加をお待ちしています。

■ゲスト 脚本家・演出家 鶴橋康夫氏

■日時 2009年3月7日（土）午後2時～5時

■場所 テレビマンユニオン会議室（B2F）

東京メトロ「表参道駅」B2出口で下車。

青山通りを青山学院大学正門方向に進み、国連大学のビル沿いに右に入り、細道奥左のビル。

入口のボタンで受付を押すと扉が開きます。

入って右に、エレベーターでB2へ。

■参加費 1,000円

■出欠・お問い合わせ 石井清司事務所

FAX 03-3594-1633

TEL 090-9333-1633

■世話人 放送批評懇談会有志

鶴橋康夫氏プロフィール

つるはし・やすお 今年2月7・8日（午後9時）、テレビ朝日で5時間の大作「警官の血」（交番警官三代のミステリー）放映。「砦なき者」で芸術選奨文部科学大臣大賞。紫綬褒章。「愛の流刑地」「天国と地獄」など。